

# 高等教育コンソーシアムみえ News

三重創生ファンタジスタ養成、高等教育コンソーシアムみえ及び各構成機関の情報誌です！

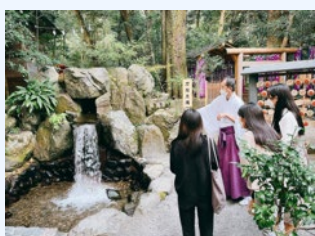
## 鈴鹿大学

### ～学生による観光情報発信「すず活」～

新型コロナウイルスの影響で、モータースポーツの町鈴鹿市も、F1グランプリ、鈴鹿8耐、鈴鹿10Hなどの国際レースが2年連続中止となりました。一方、学生たちもオンライン授業が続いて以前の様なゼミ活動も難しくなっていました。

そんな中で、鈴鹿大学の観光ゼミでは、鈴鹿市観光協会と共同で「すず活」を実施しています。「すず活」とは、鈴鹿市観光協会のウェブサイトやSNSで、鈴鹿大学の学生が取材した鈴鹿市の観光情報、地域情報を発信する活動です。

鈴鹿大学に在籍する、韓国、中国、台湾からの留学生も活動に加わり、多言語発信することも可能となりました。もちろん、日本人学生も、留学生と地域資源との橋渡し役として活躍し、多文化共生の活動になっています。



これまでに、鈴鹿市西部の椿大神社周辺（鈴鹿特産のお茶や鈴鹿パーキングエリア含む）、白子にある老舗和菓子店店主による和菓子作り体験と和菓子談義、日本のコンビニ紹介、いちご狩り体験などを取材し、多言語で発信してきました。

いずれ再開が期待される訪日外国人観光客の訪問に備えて、鈴鹿市の観光情報を発信する良いチャンスでもあります。長引くコロナ禍にあり、感染対策をとりながら、少人数グループで地元の観光資源、地域資源を学生自ら取材し、世界に向けて発信することは、制約がある環境の中でも十分可能なことです。また、学生たちが地域社会に入り、その現状を学び、取材を通じて様々な人々と交流することも、意義深いと考えています。今後も、鈴鹿市の観光情報、地域情報を発信していきますので、ご期待ください。（文責：鈴鹿大学 冨本真理子先生）

鈴鹿市観光協会ウェブ

<https://www.kanko.suzuka.mie.jp/feature/3393/>

## 2021年12月11日（土）ユマニテク短期大学 でダイバーシティ公開講座を実施しました！

「高等教育コンソーシアムみえ」では、県内高等教育機関の学生に対し、三重県が現在取り組んでいる「ダイバーシティみえ推進方針」とともに輝く（きりり）、多様な社会へ」の方針のもと、授業や公開講座を行い、ダイバーシティ社会推進の考え方を県内に広める事業を受託しています。

### ダイバーシティに関する公開フォーラム

#### 『個別最適化の時代へ向けた高等教育機関への提言』

当日は対面+オンラインで実施し、「高等教育コンソーシアムみえ」構成機関以外の県内教育機関関係者を含めた47名の参加がありました。第1部は福岡県にある明達館高等学校校長の日野 公三氏による基調講演会「発達障害の子どもたちの進路と多様な可能性」を行いました。60分の講演の中で、高校段階の特別支援教育、高校段階の当事者の特徴、明達館高等学校の特別支援教育、教育と医療・福祉の連携の必要性と可能性の4項目立てでお話いただきました。

第2部のパネルディスカッションでは、「特別支援教育」（三重県立かがやき特別支援学校校長 森井 博之氏）、「地域格差」（三重県立飯南高校校長 土方 清裕氏）、「外国にルーツを持つ生徒への教育」（四日市市教育委員会指導課 鈴木 孝之氏）という3つの視点から捉えた教育機関等における現状発表が行われました。

その後、第1部でご講演いただいた日野氏や参加者を含めて質疑応答・意見交換が行われました。



（チラシ）



（当日 質疑応答の様子）

ダイバーシティに関する授業も実施しています。

- 三重大学 2021年12月1日（水）開催
  - ユマニテク短期大学 2021年12月10日（金）開催
  - 高田短期大学 2021年12月16日（木）、  
2022年1月14日（金）開催
  - 三重県立看護大学 2022年1月26日（水）開催
- ご協力いただきました先生方、誠にありがとうございました。

本事業についてはこちらから

▶ <https://conso-mie.jp/contribution/contribution-diversity/>

公開講座の報告はこちらから

▶ <https://conso-mie.jp/2021/12/15/2021diversity1211-2/>

# 高等教育コンソーシアムみえ News

三重創生ファンタジスタ養成、高等教育コンソーシアムみえ及び各構成機関の情報誌です！

## 三重創生ファンタジスタオリジナル科目 三重学：食と観光実践最終回を迎えました

高等教育コンソーシアムみえ構成機関合同講義 三重学「食と観光実践」が松阪市産業振興センターをお借りして、12月12日（日）に最終回を迎えました。学生11名、オブザーバー2名（松阪市観光協会）、教員：四日市大学小林教授、鈴鹿大学富本教授、皇學館大学池山准教授、三重大学志垣講師が参加しました。

テーマは「松阪駅周辺の食と観光プラン5W1Hを提案する」です。

当日のスケジュール

- 12:30 集合 ガイダンス
- 12:45 グループワーク（発表準備）
- 15:00 発表会・質疑応答  
発表10分+質疑15分+講評5分 ×2グループ
- 16:00 振り返り
- 17:00 終了

各グループタイトルは、Aグループ（5名）「肢体不自由者が楽しめる食と観光プロジェクト」、Bグループ（4名）「家族で楽しむ松阪駅周辺」です。

-グループAの発表に対して

学生からは、「なぜ身体障がいの方に着目し、知的障がいを含めて包摂的に考えなかったのか」「肢体不自由者の定義があいまいで、どのように松阪駅周辺の食を楽しむかがみえない」等するどい指摘が出ました。ただし、フィールドワークで観光協会から車いすをお借りして駅周辺を歩いたこと、物理的な障害を障がい者の目線で見られたことは高く評価されました。

-グループBの発表に対して

松阪市観光協会から、「松阪駅周辺の観光は、家族層は少ないが近年ペット同伴が楽しめる旅などユニークな対象者がいるので、そういった層も考慮してPRプランを立案してもよいのでは」と現地の案内人ならではの意見をいただきました。車を利用した家族が楽しめる環境かどうかの視点で駐車スペース、ごみ問題、休憩スポット等に注目し食と絡めて発表していた点が印象的でした。



写真左:フィールドワークの風景（松坂城跡にて）  
写真右:現地視察後、議論する様子（皇學館大学にて）

最後に、反省点、今後の活かせる点を議論し振り返りながら、互いにたえ合いました。関係者の皆さま、コロナ禍でオンラインと対面形式での講義で不自由もありましたが無事に終わることができました。心より感謝申し上げます。



写真：小林先生より厳しいご指摘と労いの言葉をいただきました。

参照リンク先

▶ <https://conso-mie.jp/2021/12/16/1212shokutokanko/>

## 三重創生ファンタジスタ・エキスパート資格合格者5名が誕生しました。

三重創生ファンタジスタ資格の最上級（アドヴァンス資格の上級資格）となるエキスパート資格の認定については、2019年から始動した制度で、必要単位数の修得の他に地域活動・実績を評価する選考が行われました。

各機関で書類選考が行われた後、通過した学生に対して高等教育コンソーシアムみえ教育連携部会でオンラインによる面接審査を行いました。三重大学4名、皇學館大学1名の計5名が臨み、無事全員が合格しました。

自身の研究テーマや地域活動を通して社会貢献してきた実績、今後どのように継続して活動していくのか、活動を通して成長したことなどを説明してもらいました。

三重創生ファンタジスタについて

▶ <https://conso-mie.jp/miesfc/>

## TOPICS

「高等教育コンソーシアムみえ」では下記のイベント開催を予定しております。当日の様子については、ホームページ（<https://conso-mie.jp/>）にて紹介いたします。ぜひご覧ください。

みえまちキャンパス @ 四日市看護医療大学

日時：2022年2月19日（土）10時30分～15時30分

開催方法：オンライン開催

▼昨年度の様子（in 鳥羽商船高等専門学校）

<https://conso-mie.jp/2021/02/26/2021-2-17miemachi/>

高等教育コンソーシアムみえFD/SD研修会

日時：2022年2月17日（木）10時30分～12時

開催方法：オンライン開催

発行元：高等教育コンソーシアムみえ 事務局  
連絡先：059-231-9969

下記の機関で三重創生ファンタジスタの養成をしています。

三重大学、四日市大学、皇學館大学、鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部、鈴鹿医療科学大学、三重県立看護大学、四日市看護医療大学、三重短期大学、高田短期大学、ユマニテク短期大学、鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、近畿大学工業高等専門学校、三重県

